



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 シチズン時計株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7762 URL https://www.citizen.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報IR室担当 (氏名) 古川 敏之 TEL 042-468-4934  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	144,416	△6.5	5,725	△47.8	5,890	△55.1	3,593	△57.1
2019年3月期第2四半期	154,406	0.7	10,959	△6.8	13,133	4.0	8,375	1.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,393百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 15,106百万円 (2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11.39	—
2019年3月期第2四半期	26.32	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	399,848	259,895	62.5	799.46
2019年3月期	413,911	267,547	62.2	808.87

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 249,942百万円 2019年3月期 257,449百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	12.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	△5.2	16,000	△28.6	18,000	△32.3	11,500	△14.0	36.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	314,353,809株	2019年3月期	320,353,809株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,712,739株	2019年3月期	2,070,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	315,514,970株	2019年3月期2Q	318,284,751株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、海外諸国における政治リスクの高まりや見通しづらいつ景気動向等、先行き不透明感が強まりました。また、米国経済は引き続き各国との貿易を巡る動きが重石となり設備投資に減速感が見られたほか、欧州経済においても、通商上の不安定さや政治の不確実性の高まりから減速傾向が続きましつ。アジア経済は、中国の経済成長に陰りが見られており、その他のアジア地域も勢いを欠く展開となりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高1,444億円(前年同期比6.5%減)、営業利益57億円(前年同期比47.8%減)と、減収減益となりました。また、経常利益は58億円(前年同期比55.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億円(前年同期比57.1%減)とそれぞれ減益となりました。

## (時計事業)

ウォッチ販売の内、「CITIZEN」ブランドの国内市場は、「The CITIZEN」、「Eco-Drive One」などの高価格品が好調に推移し、中価格品も「xC」、「PROMASTER」などが堅調に販売を伸ばしました。また、ラグビー日本代表モデル発売記念イベントが奏功したほか、若干の消費税増税前の駆け込み需要もあり、増収となりました。

海外市場においては、北米市場が実店舗流通の縮小による影響を受けながらも、主力の中価格帯市場におけるシェア上昇が寄与し横ばいを維持しましたが、欧州市場は、高まる政治不安による個人消費の伸び悩みが継続しており、減収となりました。アジア市場は、景気の減速感が強まる厳しい環境にありましたが、シンガポール、ベトナム等が健闘したほか、中国市場もインターネット流通が伸長した結果、増収となりました。

マルチブランドについては、「BULOVA」ブランドが実店舗の再編等による落ち込みを抱えつつも堅調に推移しましたが、その他のブランドが海外市場を中心に伸び悩み、減収となりました。

ムーブメント販売は、依然として市場の回復に力強さを欠く厳しい環境が続いており、さらに高付加価値商品の需要の伸び悩み等により、減収となりました。

以上の結果、時計事業全体では、新製品の積極的な投入等が奏功し、完成品の売上が伸長したものの、ムーブメント販売の低迷を受け、売上高は723億円(前年同期比3.4%減)と、減収となりました。営業利益においては、重点施策の一つである高価格帯製品が売上を伸ばしましたが、ムーブメント販売の不振等による影響が大きく、34億円(前年同期比37.4%減)と、減益となりました。

## (工作機械事業)

国内市場は、半導体関連が軟調となる中、自動車関連も設備投資の先行き不透明感が強まり、減収となりました。

海外市場においても、米中貿易摩擦の影響等による景気の減速傾向が続いており、比較的安定した需要が見込める医療関連等に注力した米州市場や中国市場が底堅さを保ちましたが、欧州市場やアセアンを中心としたアジア市場の低迷が響き、減収となりました。

以上の結果、工作機械事業全体では、当社グループの独自技術であるLFV(低周波振動切削)搭載機の販売を推し進めましたが、国内外で設備投資に対する慎重な姿勢が強まるとともに、好調であった前年同期からの反動もあり、売上高は308億円(前年同期比12.6%減)、営業利益は45億円(前年同期比33.3%減)と、減収減益となりました。

## (デバイス事業)

精密加工部品の内、自動車部品は中国をはじめとした世界的な新車販売台数の減少を受け低調な推移となり、スイッチは中国向けが健闘したもののサイドスイッチ搭載機種減少により伸び悩み、精密加工部品全体で減収となりました。

オプトデバイスの内、チップLEDは、照明向けは激しい価格競争を強いられる中、価格を追随せず収益性を重視した取組みに注力したほか、バックライトユニットの売上減を受け、オプトデバイス全体で減収となりました。

その他部品の内、水晶デバイスはスマートフォン市場や民生品市場の不振等を受け低迷したほか、強誘電性液晶マイクロディスプレイもデジタルカメラ市場の縮小の影響を受け落ち込みました。

以上の結果、デバイス事業全体では、主にオプトデバイスを中心とした売上減の影響により、売上高は293億円(前年同期比7.1%減)と、減収となりました。営業利益においては、収益を重視した販売戦略に注力したものの売上減の影響が大きく7億円(前年同期比51.9%減)と、減益となりました。

## (電子機器事業)

情報機器は、フォトプリンターが横ばいを維持したものの、設備投資意欲の減退等から主力のPOSプリンター、バーコードプリンターが伸び悩み、情報機器全体では減収となりました。

健康機器は、海外向けの内、中東及びアジア向けの販売が好調に推移しましたが、国内向けの落ち込みを補うにはいたらず、減収となりました。

以上の結果、電子機器事業全体では、売上高は88億円(前年同期比9.4%減)、営業損失は1億円(前年同期は1億円の営業利益)と、減収減益となりました。

## (その他の事業)

宝飾製品は、ブライダル販売の強化により主力のマリッジリングが伸長したほか、展示会販売や卸販売も安定的に推移し、増収となりました。

以上の結果、その他の事業全体では売上高は29億円(前年同期比5.0%増)、営業利益は1億円(前年同期比153.8%増)と、増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ140億円減少し、3,998億円となりました。資産の内、流動資産は、たな卸資産が81億円増加した一方、現金及び預金が154億円、受取手形及び売掛金が74億円それぞれ減少したこと等により154億円の減少となりました。固定資産につきましては、機械装置及び運搬具が19億円増加した一方、建設仮勘定が11億円減少したこと等により、14億円の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、電子記録債務が21億円、未払法人税等が11億円、未払費用が10億円それぞれ減少したこと等により64億円減少し、1,399億円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、為替換算調整勘定が43億円、利益剰余金が29億円減少し、自己株式の取得及び消却により自己株式が7億円減少したこと等により76億円減少し、2,598億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月8日の「2020年3月期第1四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,875	71,381
受取手形及び売掛金	64,139	56,714
電子記録債権	1,225	1,444
商品及び製品	55,614	61,971
仕掛品	22,982	23,203
原材料及び貯蔵品	19,605	21,170
未収消費税等	3,131	1,846
その他	6,522	6,533
貸倒引当金	△1,111	△758
流動資産合計	258,985	243,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,496	42,531
機械装置及び運搬具(純額)	22,685	24,676
工具、器具及び備品(純額)	7,364	7,814
土地	10,326	10,379
リース資産(純額)	1,360	1,524
建設仮勘定	5,437	4,320
有形固定資産合計	89,669	91,246
無形固定資産		
ソフトウェア	4,402	4,467
リース資産	7	5
その他	4,323	3,837
無形固定資産合計	8,732	8,310
投資その他の資産		
投資有価証券	39,974	40,423
長期貸付金	942	791
繰延税金資産	11,847	11,958
その他	4,050	3,896
貸倒引当金	△268	△262
投資損失引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	56,524	56,784
固定資産合計	154,926	156,342
資産合計	413,911	399,848

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,496	19,835
電子記録債務	14,896	12,731
設備関係支払手形	246	321
営業外電子記録債務	859	579
短期借入金	13,987	15,787
未払法人税等	2,139	1,030
未払費用	13,395	12,379
賞与引当金	5,712	6,017
役員賞与引当金	247	—
製品保証引当金	1,428	1,273
環境対策引当金	0	—
事業再編整理損失引当金	484	475
その他	7,846	5,052
流動負債合計	81,741	75,484
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	27,077	26,626
繰延税金負債	791	614
事業再編整理損失引当金	816	650
退職給付に係る負債	23,328	23,634
資産除去債務	74	74
その他	2,534	2,869
固定負債合計	64,622	64,468
負債合計	146,363	139,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,648	32,648
資本剰余金	34,019	33,730
利益剰余金	181,995	179,070
自己株式	△1,773	△1,070
株主資本合計	246,889	244,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,111	7,382
為替換算調整勘定	3,303	△1,016
退職給付に係る調整累計額	△855	△802
その他の包括利益累計額合計	10,559	5,562
非支配株主持分	10,098	9,952
純資産合計	267,547	259,895
負債純資産合計	413,911	399,848

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	154,406	144,416
売上原価	94,524	90,040
売上総利益	59,882	54,375
販売費及び一般管理費	48,923	48,649
営業利益	10,959	5,725
営業外収益		
受取利息	251	253
受取配当金	526	466
持分法による投資利益	436	498
為替差益	783	—
その他	582	325
営業外収益合計	2,581	1,543
営業外費用		
支払利息	185	223
為替差損	—	979
その他	221	175
営業外費用合計	407	1,378
経常利益	13,133	5,890
特別利益		
投資有価証券売却益	29	—
固定資産売却益	8	42
その他	3	6
特別利益合計	41	48
特別損失		
固定資産除却損	255	188
固定資産売却損	9	6
減損損失	21	1
事業再編整理損	261	341
投資有価証券評価損	—	0
コンプライアンス特別対策費等	192	—
その他	329	179
特別損失合計	1,071	717
税金等調整前四半期純利益	12,104	5,221
法人税等	3,508	1,506
四半期純利益	8,595	3,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	220	121
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,375	3,593



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	8,595	3,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,687	△729
為替換算調整勘定	4,558	△4,343
退職給付に係る調整額	66	54
持分法適用会社に対する持分相当額	197	△90
その他の包括利益合計	6,510	△5,109
四半期包括利益	15,106	△1,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,782	△1,386
非支配株主に係る四半期包括利益	323	△7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,104	5,221
減価償却費	6,671	7,322
のれん償却額	264	—
引当金の増減額(△は減少)	△494	△681
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	398	370
受取利息及び受取配当金	△778	△719
支払利息	185	223
投資有価証券売却損益(△は益)	△29	—
固定資産売却損益(△は益)	0	△36
固定資産除却損	236	188
売上債権の増減額(△は増加)	△1,076	6,248
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,716	△9,506
仕入債務の増減額(△は減少)	1,215	△1,849
その他	2,794	1,441
小計	10,775	8,224
利息及び配当金の受取額	776	715
利息の支払額	△173	△218
法人税等の支払額	△6,168	△4,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,210	4,556
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△1,970
投資有価証券の売却による収入	30	—
有形固定資産の取得による支出	△8,964	△10,681
有形固定資産の売却による収入	445	568
無形固定資産の取得による支出	△700	△668
貸付けによる支出	△58	△1
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△367	△703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,613	△13,455
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,436	1,849
長期借入れによる収入	1,216	268
長期借入金の返済による支出	△9	△704
社債の発行による収入	10,000	—
配当金の支払額	△4,296	△3,183
非支配株主への配当金の支払額	△136	△149
自己株式の取得による支出	△75	△3,000
自己株式の売却による収入	74	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△0	△557
その他	△546	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,662	△5,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,468	△1,910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,728	△16,467
現金及び現金同等物の期首残高	90,655	84,533
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	544
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,384	68,610

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,640,400株の取得を行い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,999百万円増加しました。また、2019年8月29日開催の取締役会決議に基づき、2019年9月30日付けで、自己株式6,000,000株の消却を行った結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ3,703百万円減少しました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が179,070百万円、自己株式が1,070百万円となっております。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号(リース)を適用しており、借手の会計処理として原則すべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への 売上高	74,908	35,307	31,597	9,752	2,840	154,406	—	154,406
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48	840	1,034	56	450	2,431	△2,431	—
計	74,956	36,148	32,632	9,809	3,291	156,838	△2,431	154,406
セグメント 利益又は損失	5,506	6,844	1,557	194	77	14,179	△3,220	10,959

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△3,220百万円には、セグメント間取引消去△174百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,046百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への 売上高	72,372	30,870	29,358	8,831	2,983	144,416	—	144,416
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	51	434	950	45	410	1,891	△1,891	—
計	72,423	31,304	30,309	8,876	3,393	146,308	△1,891	144,416
セグメント 利益又は損失	3,446	4,566	750	△130	196	8,827	△3,102	5,725

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△3,102百万円には、セグメント間取引消去△59百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,042百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。